

## 今度ははっきり言えた

妹は、僕の顔、思い出した様で、「こっちへ、どうぞ、今、皆、留守ですけど。」と、立派な応接間に通された。

一人で、テレビ見ていた様だったが、「野球にしますか」と気をきかして、テレビのチャンネルを変えてくれた。

応接間に妹と僕の二人、無言でテレビ見る。

妹は野球には興味ないようで、僕の方ばかり見る。

僕も、かすかに妹を覚えていて、「大きくなったなあ」と言うと、渋い顔になる。

「あれ、レディーに、なにか、失礼なことゆうたかな？」と言うと、「お宅さんこそ、大きくなったなあー、ですわー。」と言う。

「そうか」と言って、僕がニガ笑いすると、妹もニコニコし出した。

電話を借りて、安田に電話した。

田口の住所を調べてもらい、

田口とこの電話番号を聞いた。

妹が電話するそばで、ジュースをくれた。

田口の家で電話すると、いたので、どう行くか説明してもらった。